

# 静岡県立総合病院放射線科専門研修ネットワークプログラム (静岡県立総合病院)

## 1 はじめに

静岡県立総合病院は大学病院並みの最新医療機器が整備されており、症例数も多く放射線専攻医の研修には大変恵まれた環境です。多くの診療科とのカンファレンスが開催され、幅広く研修することができます。研修協力施設には国内でN02の症例数を誇る静岡がんセンターで高度のがん診療を研修することができ、また山梨大学やその主力関連病院とも連携しており系統的な幅広い放射線診療を研修することができます。



3年間の専攻医研修後はそのまま専門医研修を継続することも可能です。  
魅力ある専攻医研修、専門医研修ができますので、是非応募して下さい。

プログラム統括責任者 静岡県立総合病院 放射線部長 中島 信明

## 2 目的

放射線科領域専門制度では、放射線診断専門医または放射線治療専門医の育成の前段階として、放射線診断専門医および放射線治療専門医のいずれにも求められる放射線科全般に及ぶ知識と経験を一定レベル以上に有する「放射線科専門医」を育成することを目的としています。放射線科専門医の使命は、放射線科領域の専門医として、放射線診療・放射線医学の向上発展に資し、医療および保健衛生を向上させ、かつ放射線を安全に管理し、放射線に関する専門家として社会に対して適切に対応し、もって国民の福祉に寄与することであり、本プログラムは上記の整備基準に従い、放射線科領域における幅広い知識、錬磨された技能と高い倫理性を備え、コミュニケーション能力とプロフェッショナルリズムを備えた放射線科専門医をめざし、放射線科専攻医を教育します。

## 3 研修病院群

- (1) 専門研修基幹施設  
静岡県立総合病院放射線科
- (2) 専門研修連携施設  
静岡県立静岡がんセンター放射線科  
山梨大学医学部附属病院放射線科  
山梨県立中央病院放射線科  
市立甲府病院放射線科

## 4 専攻医受入数

募集人数：1名／年間

## 5 研修期間

研修期間は3年間以上です。専門研修プログラムにより研修を開始した日をもって研修開始日とします。専門研修施設群では、研修施設それぞれの特徴を生かし、専門研修カリキュラムに掲げられた目標に則って放射線科領域専門研修を行います。

- ・静岡県立総合病院放射線科では、医学一般の基本的知識技術を習得した後、画像診断法（X線、超音波、CT、MRI、核医学、PET）、急性期疾患の画像診断、消化管造影の手法と読影、IVR、放射線治療並びに放射線の安全管理の知識を習得します。さらに医師としての診療能力に加え、教育・研究などの総合力を培います。地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院である静岡県立総合病院は地域の中核的病院としての役割を果たしており、近隣の病院から多くの患者が紹介されて来ています。また、高度救命救急センターに搬送される重症外傷例の画像診断およびIVRを多く研修することができます。静岡PETセンター（サイクロトロン、PET-CT 3台）が付設されて近隣の病院から機器共同利用されており、多数の症例を研修することができます。全身CTによる死後画像診断(AI)も積極的に行っておす。
- ・静岡県立静岡がんセンター放射線科では悪性腫瘍に特化した高いレベルの画像診断、IVR、及び先進的な放射線治療に適切に対応できる診療能力を培い、静岡県立総合病院放射線科の研修を補完します。
- ・山梨大学医学部附属病院放射線科、山梨県立中央病院放射線科、市立甲府病院放射線科では、頻繁に関わる疾病の画像診断、検査の適応と読影の研修、IVR及び放射線治療に適切に対応できる総合的な診療能力を培い、静岡県立総合病院放射線科の研修を補完します。

## 6 研修計画（例）

研修には以下の2コースが設定されています。

コース	専攻医1年目	専攻医2年目	専攻医3年目
放射線診断 専攻コース	診断 (専門研修基幹施設)	診断 (専門研修連携施設)	治療 診断 (専門研修基幹施設)
放射線治療 専攻コース	診断 (専門研修基幹施設)	診断 治療 (専門研修連携施設)	診断 治療 (専門研修基幹施設)

## 7 問い合わせ先

静岡県立総合病院 静岡県立総合病院 放射線部長 中島 信明  
事務局 総務課人材係 大下 将  
静岡県静岡市葵区北安東4-27-1  
TEL 054-247-6111 (代)  
E-mail sougou-soumu@shizuoka-pho.jp